

令和7年度

由岐中学校伊座利分校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 将来への見通しをもち、主体的に学習に取り組む生徒の育成
- PBSを基本とする個別最適な学習支援
- ICT機器を効果的に活用した授業実践

校長

岩佐 宣之

学力向上推進員

研修主任 ： 灘 里緒菜

【各校の取組状況の把握について】

全教職員による授業参観・研修等，様々な機会を捉え，取組状況の把握を行う。

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○授業に真剣に取り組む，与えられた課題に真面目に取り組むことができる。 ●身に着けた知識・技能の活用が苦手な生徒がいる。	①授業中の学習内容の理解を深める。 ②習得した知識が既習の知識と関連付けられ、他の学習の場面で活用することができる。	①ICT機器の活用・ふりかえり・小テストの実施など、生徒理解に把握し、個別に応じた支援を行う。 ②自分の力でできる課題を提示したり、参考にするもの（教科書や授業ノートなど）がどこなのかを一緒に提示したりする。 ③意識して活用する問題に取り組ませる。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○短文でパターン化された課題に対して、意欲的に取り組むことができる。 ●長文や思考を要する課題では、課題の意味が十分に理解できない。	①長文を最後まで読み解く力をつける。 ②自分で考えたこと感じたことなどを、適切な漢字を使い200字程度の文章にまとめることができる。	①読書の推奨。 ②授業中に音読・なぞり読みを積極的に行い、課題解決に必要な情報にアンダーラインを引かせる。（国語力向上タスクフォース参照） ②行事終了後に、200字程度の作文を書かせる。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○教師の問いかけに対して、自分で一生懸命考え意見を述べるができる。 ●自分で考えて学習を進めることが苦手であり、苦手な学習内容について、自分で計画をして克服することに課題がある。	①テスト前に自分で学習計画を立てることができる。 ②与えられた課題以外に主体的に学習に取り組むことができる。 ③自分の学習状況をしっかりと振り返り、自らの課題を解決できるよう計画を立て、実践することができる。	①テスト前に学習計画を立てさせる。 ②PBSを基本とした学習支援をし、自主学習などを用いて、自分の課題にあった学習に自主的に取り組むことができるようにする。 ③自主学習では、毎回めあてと振り返りを行い、できるようになったことや課題を見つけさせる。			